

住友ゴムグループは、持続的成長に向けて、
 中長期的な事業機会を着実に成長につなげるとともに、
 持続的成長の阻害要因となるリスクを見極め、その低減に努めています。
 ここでは、今後の事業環境の変化を見据えた当社グループのリスクと機会、
 発揮していく強みと今後の展開について、わかりやすくご紹介します。

	経営課題	事業機会	リスク	強み	成長機会
タイヤ事業	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル体制の成果最大化 ● 市場ニーズや高まる要求性能に対応する新商品開発 ● AI、IoTなどのデジタル技術活用と設備の自動化による、生産現場のさまざまな課題に対応するスマートファクトリーの実現 	<ul style="list-style-type: none"> ● インド／アフリカ／アセアン等での人口急増や経済成長によるモータリゼーションの加速 ● 自動車の環境規制強化や地球環境保全意識の高まりによる天然資源タイヤや低燃費タイヤへの需要拡大 ● 電気自動車や自動運転車向け次世代タイヤの需要増加 ● AI、IoTを取り入れた新たなビジネスモデルの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新興国の政情不安 ● 原材料、石油価格の高騰 ● 新興国メーカーの台頭 ● 自然災害、パンデミック 	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界初の空気入りタイヤ実用化から130年超の歴史と世界的な知名度を誇るDUNLOPブランド ● 低燃費タイヤのラベリング制度に対応した「エナセーブ」シリーズを中心とした豊富なラインアップ ● グローバル最適生産体制 ● 最新鋭のスーパーコンピュータなどを活用した世界最高レベルのシミュレーション連携解析 	<ul style="list-style-type: none"> ● 需要拡大するSUV用タイヤなど高機能タイヤのグローバルでの増販 ● タイヤ開発および周辺サービス展開のコンセプト「SMART TYRE CONCEPT」の具現化による、新たな経済的価値と社会的価値の創出 ● より安全性が高く、低燃費性能に優れ、環境負荷の少ない原材料を活用したタイヤとデジタルツールを融合したタイヤ周辺サービスの提供 
スポーツ事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内市場において、ゴルフクラブ・ボール、テニスボールシェアNo.1の維持と売上・利益の確保 ● ゴルフ・ラケットスポーツ用品において、グローバルでのプレゼンスの向上 ● 「ダンロップ」ブランドの価値向上を図り、その効果を当社グループ全体へ波及させ、シナジーを創出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ダンロップ」ブランドの世界での商標権獲得にともなう事業機会の拡大 ● 高齢化社会の進展を背景に、健康やスポーツに対する生活者意識の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴルフ・テニスの競技人口減少による市場縮小 ● 経済の不安定さ・先行き不安に起因する、余暇関連支出の抑制 ● 原材料の高騰 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最新鋭のスーパーコンピュータを駆使するなど、卓越した技術開発力に裏打ち・差別化された商品やサービスを提供 ● 世界最高峰のプロツアーを舞台に、磨き上げた商品力とブランドビルディング ● ユーザーニーズに基づく徹底したマーケティングの実践とそれを支えるグローバルマーケティング力 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高機能商品の開発・増販 ● グローバルでスポーツ事業を拡大(ゴルフ、ラケットスポーツ事業) <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルフでは、最大市場の北米でプレゼンスの向上 ・ ラケットスポーツでは、テニスボールで培った販売力、ダンロップのブランド力、技術開発力を活用し、増販 ● お客様のスポーツライフをもっと豊かにすべく、スポーツの持つ多様な価値や可能性を追求 
産業品他事業	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴム技術をベースとした品質や機能面での高付加価値製品研究開発体制の強化 ● 従来の国内・アジア中心のビジネスから欧米へのビジネス展開の加速 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医薬品の世界的な市場拡大による医療用精密ゴム部品の持続的な需要増加 ● 制振事業での地震対策ニーズの高まりにともなう住宅用、ビル用ダンパーの需要増加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料の高騰 ● 競争環境の激化 ● 日本の人口減少 ● 市場の縮小 ● 為替変動 	<ul style="list-style-type: none"> ● タイヤ事業で培った独自のゴム技術をベースに、身近な生活・ヘルスケア用品から医療用精密ゴム部品、制振ダンパー、産業インフラなど、さまざまな分野で多角的な製品開発・販売体制を保有 ● 2020年から、医療用精密ゴム部品事業本部を欧州に移し、成長市場でのグローバルな事業展開体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療用精密ゴム部品では、スイスのロンストロフ社を傘下に加え、2019年にスロベニアで医療用精密ゴム部品の新工場を稼働するなど、成長市場でのさらなる事業拡大 ● 制振事業では、橋梁・ビルで採用されている制振技術を活用した戸建て住宅用制震ユニット「MIRAIE(ミライエ)」のラインアップの拡充・拡販 

エナセーブ
NEXT III



XXIO
EXPERIENCE THE DIFFERENCE

ゴムで振れを吸収する「制震ユニット」ミライエ
MIRAIE